

○ 調査問題

- 3 1
注ぐ 売る
- 4 2
しぼる 焼く

油を
□。

(2) 用事のとちゅうなのに、友達の家で

10 次の(1)～(4)の文の□に入る
もっともふさわしい言葉を、あとの
1～4の中からそれぞれ一つ選びま
しょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題概要】 文中の空欄にあてはまる適切なことわざ・慣用句の一部を選択する。

【出題の趣旨】 ことわざ・慣用句の意味を理解し、適切に使う。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	2	3	4	0 無解答
反応率	57.1%	4.2%	34.7%	3.3%	0.7%

- 正答率は57.1%であり、4つの選択肢の中では選択された割合が最も高い。
- 誤答のうち、「油を注ぐ」と解答した割合が34.7%と最も高く、次いで「油を焼く」が4.2%、「油をしぼる」が3.3%となっている。
- 誤答の主な原因は、①そのことわざや慣用句自体を知らないこと、②ことわざや慣用句の意味を正しく理解していないこと、③「用事のとちゅうなのに」という文脈を読み取っていないことが考えられる。誤答で一番多かった「油を注ぐ」を選択した理由としては、「油」という語句が含まれることわざ・慣用句として理解していたものが「注ぐ」であり、文脈と慣用句の意味の整合性は図らなかつたと思われる。

○ 指導上のポイント

ことわざや慣用句についての知識を増やすための指導

<学習活動例> ○ことわざ（慣用句）カルタを作ろう。



この活動を通して、ことわざ（慣用句）の知識を増やし、意味を正しく理解できるようにしましょう。児童の実態やねらいに応じて、遊び方を工夫できます。

取り札（表）

ことわざと
イラスト
（または画像）

児童が動作化した画像にすると、さらにことわざへの理解が深まります。

ねらい	ことわざに親しむ	ことわざの意味を理解する	ことわざの用法を理解する
取り札	表	表	裏
読み手	ことわざを読み上げる	ことわざの意味を読み上げる	ことわざの意味を読み上げる
札の獲得後	読み手がことわざの意味を読む	取り手がことわざの用例を読む	

用例
ことわざの

意味
ことわざと

取り札（裏）

読み札

ことわざや慣用句の意味を理解し、適切に活用させるための指導

<学習活動例> ○ことわざ（慣用句）劇を考え、クイズとして友だちに紹介しよう。



この活動を通して、ことわざ（慣用句）の意味を理解し、適切に活用できるようにしましょう。ことわざの用例を参考にしながら劇を考えてクイズとして出題することで、実感を伴ってことわざの意味を理解することができます。



どんな劇にしたら、「猿も木から落ちる」の意味がしっかり伝わるかな。

同じ意味をもつことわざに「河童の川流れ」っていうのがあったよ。他にもないか、本で調べて確認してみよう。



主眼的、対話的で、深い学びの視点。

<日常生活において> 実感を伴ってことわざ・慣用句を理解し、活用する場を増やす。

朝の会のスピーチで

日記を書く時に

教室に掲示

※ 故事成語や四字熟語など、ことわざや慣用句以外にも広げて活動することも考えられる。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】復習シート
6年生・国語 レベル6・7
4言語事項
(漢字や文法など)

【活用の場面】
・ことわざ・慣用句に関する
知識を確認する場面

（ ）に同じ漢字を当てはめると、慣用句やことわざになります。当てはまる漢字一字を書きましよう。

・ （ ）をはさむ

・ （ ）はわざわいのもと

・ 開いた（ ）がふさがない

・ （ ）がすべる